

a la carte.

2025.8

あらかると

463



小原田の里守として
トラスホーム株式会社

小原田の里守として トラスホーム株式会社

現在の郡山市にかつてあった奥羽街道小原田村。周りには一面に田んぼが広がり、阿武隈川の清流が流れる風光明媚な里でした。季節の恵みに囲まれ、暖かで強い人と人との繋がりがあったかつての里の姿を受け継ぐべく、小原田の里守(さともり)としてトラスホームは歴史・環境・人との関係を紡いだ豊かな暮らしを提案しています。



こだわりの物件

トラスホームは旧小原田村のエリアで賃貸住宅を所有・運営・管理を行っています。暮らしづくりのミッションとして「里の交流を育む暮らしづくり(=人)」「里の生活文化を未来につなぐ暮らしづくり(=歴史)」「里の多様な環境を活かした暮らしづくり(=環境)」を掲げており、手がけている物件にはその思いが投影されています。

郡山市立小原田中学校の近くにFハイツ小原田があります。物件の外観はスタイリッシュな黒を基調としておりひと際目を引くデザインです。その中でも特に物件の駐車場と敷地を囲む植栽に目を奪われます。また、物件の玄関付近の緑豊かなあぜみちと井戸には懐かしい雰囲気があり、原風景のひと時を思い出させます。植栽にはブラカードがついており、1つひとつ名前が書いてあるので、木の名前や季節に合わせてどんな花が咲くのかを知ることができます。友達とおしゃべりしながら歩いて楽しい、見て楽しい通学路になっています。



郡山市香久池公園の近く、閑静な住宅街にロカド香久山はあります。四季折々に咲く色鮮やかな花や木々が生い茂る中庭を中心に部屋が向かい合う形で建設されています。通常の賃貸では、いかにプライバシーを確保できるかという考え方があると思いますが、ロカド香久山はむしろ自然に入居者さんたちがお互いの顔を合わせ気軽に挨拶を交わしコミュニケーションをとることができ、人の気配を感じながら日常を過ごすことができます。また、季節に合わせてバーベキューや芋煮会などのイベントが開催されることも魅力の1つです。



名倉にあるレジデンス名倉には、入居者さんが誰でも利用できるコモンスペース「里守ひろば」があります。ワーキングスペースとリビングスペースがあり、キッチンも併設されています。季節ごとにイベントが開催され、参加者はマンションの入居者だけではなく、そのお友達や退去された方も遊びに来ています。隣のアパートの入居者さんや、そのお子さん同士も仲良くなったりと、様々なコミュニティが生まれています。



コミュニティが生まれる場所として

靴を脱いであがる玄関、吹き抜けの天井、時間をお知らせする鳩時計。木の温もりに囲まれどこか懐かしい雰囲気の里守カフェ。

お店のコンセプトは「子供を連れたママさんたちが立ち寄りやすいカフェ」。ママさんの気持ちに寄り添えるようにスタッフさんもママさんです。働きやすい環境でお仕事をしてもらいたいという思いからスタートし、里守カフェは現在、週2日(水・木)で営業をしています。



時代の変化とこれから

トラスホーム代表のご先祖様は小原田村(現:小原田)の地で農業を営んでいました。小原田村の里には暖かく、緩やかな、強いつながりで結ばれた暮らしがありました。時代の流れに対応するため約50年前から、農業から大家業にシフトチェンジをしていきました。

大家としてのこれからを考えたとき、人口が減り続ける時代に、そもそもその地域に住みたいと思う人がいないと生き残っていけないのではないかと考えました。地域自体に住みたいと思えるような魅力がないと、いずれは人口が減っていき行政も成り立たなくなってしまう。そこで小原田という地域の価値が上がり、皆が住みたいという街を作っていくには、小原田村だった時に残っていたような、豊かな環境の中で暖かな人のつながりを育んでいくことが大切だと考えました。

人とのつながりが感じにくくなっている現代に、暖かなつながりが続いていくような街にしたい。時代が変わっても、昔ながらの良さを大事にしながら、地域の方々が楽しく暮らせるような街にしたい。そして、「昔こんなところに住んでいて、こんな楽しいことをしていたんだ」という子供が大人になった時に、自分たちが楽しくなる暮らしを小原田で育み、「ここにずっと住み続けたい」と考えるようなことにつながれば、これ以上嬉しいことはありません。

トラスホーム株式会社

〒963-8845
福島県郡山市字名倉276-1
TEL.024-937-5870

公式ホームページ

